

教科名	芸術科	科目名	美術 I		単位数	2
教科書等	高校美術 1 (日本文教出版)		教材等	担当教員作成による		
目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心 情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化につい ての理解を深める。					
評価の観点	美術への関心・意 欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力		
観点の趣旨	美術の創造活動の 喜びを味わい、美 術や美術文化に関 心をもち、主体的 に表現や鑑賞の創 造活動に取り組も うとする。	感性や想像力を働 かせて、主題を生 成し、創造的な表 現の構想を練って いる。	創造的な美術の表 現をするために必 要な技能を身に付 け、表現方法を工 夫して表している。	美術や美術文化を 幅広く理解し、そ のよさや美しさを 創造的に味わっ ている。		
評価 方 法	授業への参加態 度と参加内容	○	○	○	○	
	ライティング				○	
	作品		○	○		
学期	月	単元内容 (単元名)		具体的な学習内容		
前期	4	デッサン		鉛筆の削り方や握り方、基本的な描き方を知る。 鉛筆によるグラデーションで灰色の調子をつかむ。 幾何形体や石膏像、人体、身近なものを観察して、 対象の明暗、立体感、質感などを表現する。		
	6	色彩		絵の具を通して色彩表現について学ぶ。		
後期	10	絵本		ストーリーを考え、場面構成を練り、作画、製本 をしてオリジナル絵本をつくる。		
	1	自画像		鏡で自分の顔を観察し、キャンバスにアクリル絵 の具を使って自画像を制作する。		

教科名	芸術科		科目名	音楽 I		単位数	2		
教科書等	「高校音楽 I Music View」(教育出版株式会社)			教材等	担当教員作成による				
目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。								
評価の観点		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力				
観点の趣旨		音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きを感じながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもって	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの動きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。				
評価方法	授業への参加態度と参加内容	20		5	5				
	実技		15	15					
	レポート		5		15				
	定期考査	5	5	5	5				
	観点の重み (%)	25	25	25	25				
学期	月	題材の内容 (題材名)		具体的な学習内容					
前	4	茨城県立下館第一高等学校へようこそ		校歌の歌詞が表す情景や心情、曲想に関心をもち、明るい声(音色)、旋律、リズムを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を創意工夫し、拍の流れにのって明るい声で校歌を歌う。					
		詩と音楽とのかかわりを意識して歌曲を聴こう		「あげます」の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取るとともに、「あげます」の特徴を谷川俊太郎の詩と関連付けて聴き、主体的に解釈したり価値を考えたりして、美しさを味わう。					
		歌詞の内容や曲の雰囲気を大切に歌を歌おう		「夜明け」や「民衆の歌声が聞こえるか？」の歌詞が表す情景や曲想に関心をもち、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を総意工夫し、必要な技能を身に付けて歌う。					
	5	音楽と物語とのかかわりを理解して鑑賞し、歌劇の魅力味わおう		歌劇「トゥーランドット」に親しみ、音色、速度、旋律、強弱などが生み出す音楽の特徴を物語の展開と関連付けて理解し、総合芸術としての歌劇のよさや美しさを味わって聴く。					
	6	イタリア語とドイツ語の歌曲の特徴をいかして歌おう		イタリア語やドイツ語の言葉の特性を味わい、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取りながら表情豊かに歌う。					
	7								
	9	ギターの特徴を生かした器楽アンサンブルを楽しもう		旋律や和音やリズムなどのかかわりを知覚・感受しながら、ギターの特徴を生かした伴奏を創意工夫して器楽アンサンブルを楽しむ。					
		箏の特徴をとらえ、箏曲のよさを味わいながら鑑賞や演奏をしよう		日本の箏をアジア地域の諸民族の楽器と比較するなどしてその特徴をとらえ、音色、旋律、速度などを知覚・感受しながら、「六段の調」を鑑賞したり「かさじぞう」を創意工夫して演奏したりする。					
	後	10	音素材や言葉のリズムを生かし、構成を工夫して音楽をつくろう		音素材や言葉のもつリズム、反復や変化の構成に関心をもち、それらを生かし、創意工夫して音楽をつくる。				
			コード進行を手掛かりにして旋律をつくろう		リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、コード進行を基にして旋律をつくり、その旋律を基に反復、変化などの構成や全体のまとまりを生かして音楽をつくる。				
11		歌詞や曲想、声部の役割を生かして混声合唱をしよう I		楽曲の歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、声の音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、必要な技能を身に付けて歌う。					
		音楽の構造を意識して聴き、管弦楽の豊かな響きを味わおう		音楽の構造や管弦楽の響きに関心をもち、音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の構成や展開の仕方と楽曲全体の表情の移り変わりとのかかわりを理解し、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わう。					
12		歌詞や曲想、声部の役割を生かして混声合唱をしよう II		楽曲の歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きに関心をもち、声の音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、必要な技能を身に付けて歌う。					
	1								
	2								
	3	声や旋律の特徴などを感じ取り、郷土の音楽に親しもう		郷土の民謡の発声、言葉の特性、節回しなどに関心をもち、それらを生かして表現を工夫し、思いや意図をもって歌うとともに、音楽の背景となる歴史などと関連付けて聴き、よさを味わう。					